

に
じ

Vol.39

2016年12月発行号

ご自由にお持ち下さい

地域医療の
かけはし
となることを願って

Contents

- P2~3 泌尿器科の紹介
- P4 新人ナース奮闘記
- P5 認定看護師紹介
- P6 ワークライフバランス
- P7 検査部紹介／新任 Dr. 紹介
- P8 診療日程案内



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会川内病院**

表紙：世界一郷水車(薩摩川内市 祁答院)

診療体制

済生会川内病院泌尿器科は、日本泌尿器科学会の専門医・指導医資格をもつ常勤医3名体制で日々の診療にあたっています。外来診療は火曜～金曜の午前中に行っており、基本的には予約制ですが、紹介状を持たずに来られた飛び込みの方の診察も受けております。科の方針として、『我々を頼って来た、困っている患者を断らない』をモットーとしております。

入院診療は、科内の医師全員が話し合いをしながら診療を進めるチーム医療を行っており、担当医以外にも全員が主治医として対応し



済生会川内病院泌尿器科部長

古郷 修一郎

SYUICHIRO KOKYOU

泌尿器科の紹介

我々を頼って来た 困ってる患者を断らない

ております。複数の目で患者を診察するため、見落としがなくなり、適切な治療を適切なタイミングで行うという、チーム医療の最大のメリットが実践されております。

泌尿器科で扱う疾患

泌尿器科が扱う疾患は多岐にわたっています。腎実質と腎盂・尿管・膀胱・尿道から成る尿路、および前立腺、陰茎、精巣などの生殖器、そして副腎や後腹膜腫瘍を担当します。また、小児のおねしょや、女性の尿失禁や骨盤臓器脱（主に膀胱脱）といった他科との境界領域にも積極的に取り組んでいます。死に至る癌や感染症から、Q

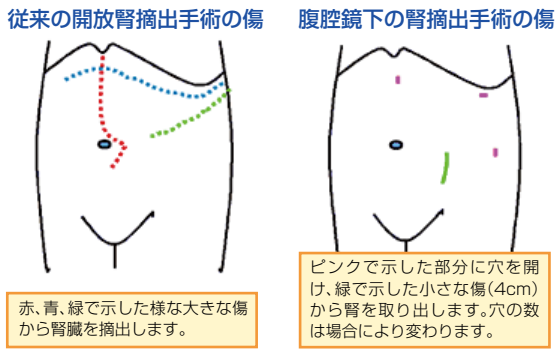
OL（生活の質）を脅かす排尿障害や、機能障害など扱う疾患が非常に多様です。

がん領域に関しては、前立腺がんが2015年の統計で、男性のがん罹患数で胃がんを抜いて第1位となりました。腫瘍マーカーであるPSA（前立腺特異抗原）の検査が普及し、早期に発見されることが多くなったためと思われます。PSAが高値の場合、前立腺がんの確定診断のために前立腺針生検が必要となります。当院では1泊2日の検査入院で生検を行っており、受診から1か月以内に検査が可能です。

治療法の選択

治療法について、特に手術に関していいますと、近年は患者さんの肉体的、精神的負担の軽減につながる医療の低侵襲化が各科領域で進んでいます。泌尿器科領域の疾患に対する手術手技においても、術後のより早い回復や疼痛の軽減、入院期間の短縮などに結びつく手術の低侵襲化が推奨され、様々な術式が普及してきていま

(図1)：開放手術と体腔鏡手術の傷の違い



す。この様な観点から、当院でも患者さんのQOLを重視した内視鏡的治療を主軸とした診療体系を構築し、今までは開腹手術で行われていたものを腹腔鏡手術で行うようになってきました。例えば通常15〜30cmもの皮膚切開を要していた腎や副腎摘除術でも、直径が5〜10mmのポート孔を3〜4箇所あけるのみで手術可能となり、最終的に皮膚を4〜5cm切開するのみで腎を摘出できます。(図1)出血量も100ml以下で、術後1日目から歩行および経口摂取が可能となり、患者さんから喜ばれております。

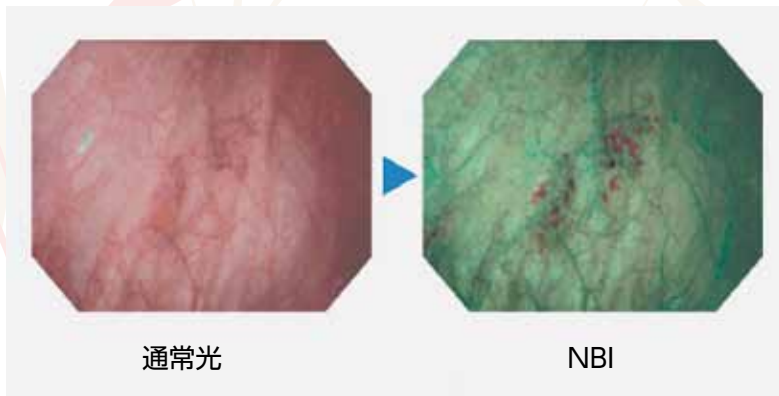
また限局性前立腺癌に対する根治的治療である腹腔鏡下前立腺全摘除術も行っておりますが、患者さんの希望に合わせて外科治療にとどまらず、放射線治療科とも協力して放射線治療も行っております。

治療法の選択に際しては、出来る限りの情報を患者さんに提供して一緒に考えていく姿勢をモットーとしています。

最新機器の導入

腹腔鏡手術の増加に伴い、2016年度より3D腹腔鏡システムを導入しました。偏光レンズ眼鏡をかけることにより、従来平面的にしか見えていなかった腹腔鏡の術野が、通常の立体的な視野で観察できるようになっていきます。縫合操作が非常に容易に行えるようになる、鉗子操作がより正確なものとなる等の立体視のメリットにより、患者さんに更により優しい手術を提供できるようになりました。

また、外来では膀胱癌の早期発見を目指した試みとして2016年度より、NBI(Narrow Band



Imaging)システムを用いた膀胱鏡検査を行っています。これは、通常光と波長のことなる光を用いることで、膀胱内で腫瘍化しつつある異常粘膜にみられる血管構築の異常を捉えようとする新規の光学システムです。このシステムの導入により、上皮内癌などこれまでの膀胱鏡検査で診断が困難であったケースでも、より確実に病変部位の同定が行えるようになりつつあります。(図2)

終わりに

泌尿器科疾患は扱う疾患が多いため、専門性が非常に高いものなどは、場合によっては大学病院や鹿児島市内の病院に紹介せざるを得ないこともあります。しかし、我々の元を訪れる患者さんのほとんどは北薩地区在住の方ですので、可能な限りここ済生会川内病院で診断、治療を完結できるようにしたいと考えています。

北薩地域の中核病院として、地元で治療が受けられるよう、その役割に対する期待に応えられるよう、より良い医療を提供できるように頑張っていきたいと思っております。



(続)

新人ナースの奮闘記

看護部教育委員会

水流 佳世子・植松 裕見子

(つる かよこ) (うえまつ ゆみこ)

《年間の新人教育内容》

- 4月 ①新人集合教育、48項目(～10月)
②1ヶ月グループワーク
- 5月 ①2ヶ月グループワーク
- 6月～8月 ①入院体験:1泊2日入院体験
- 7月 ①4ヶ月グループワーク②ナラティブ研修
- 9月 ①多重課題(シュミレーション)・6ヶ月グループワーク
- 10月 ①交流会 ②ローテーション研修(～11月)
- 2月 ①看護科学研修の参加
②ナラティブ発表会

本年4月に入職した新人助産師2名・看護師8名の奮闘ぶりをお伝えします。

当院看護部教育委員会では、継続教育にラダーを取り入れ新人教育レベルIでは「①済生会の歴史と使命について理解できる②病院の理念・目標を理解し組織の一員として自覚する③正確な知識・技術を習得し指導を受けながら安全な看護サービスを提供できる④看護チームにおけるメンバーの役割を理解し行動できる⑤自己の課題に対し助言を受けて学習できる⑥看護職員の倫理綱領が理解できる」を目標に1年間を通して様々な教育を行っています。今回は教育研修に取り組む新人たちの様子をお伝えします。(*^_^*)

4月

新人集合教育(4～10月)

沢山の技術を学びます!

1ヶ月グループワーク

入職後の色々な思いを語り合います!

人形で練習、上手くできるかな?



う...う...大丈夫かな～?

1・2・3 頑張るぞ!!



5月

2ヶ月グループワーク

御家族や先生方を病院に招き、成長した姿を実際に見て頂きます。

全員で記念撮影



お母さん、お姉さん、ありがとうございます(*^。^*)

お母さんの血糖どれぐらい?



9月

多重課題(シュミレーション) 6ヶ月グループワーク

患者観察・転倒対応等、フィジカルアセスメントを学びます!

先輩看護師が模擬患者だと緊張する～



6月 ▶ 8月

病院に1泊2日の入院体験

7月

4ヶ月グループワーク

新人指導者に感謝の気持ちを込めてキャンディーフラワーを作りました!

いつもありがとうございます



う～センス良く作るぞ～



10月

交流会

先輩看護師と食事会!



新人～3年目看護師が集合!! 皆でワイワイ話しました

11月

ローテーション研修

色んな部署で体験学習



初めての手術室で緊張します

2月

看護科学研修の参加 ナラティブ発表会



皮膚・排泄ケア認定看護師

神 菌 由 佳

Yuka Kamizono



はじめまして

皮膚・排泄ケア認定看護師の神菌由佳です。2015年7月に資格習得し、現在は5階東病棟の主任を兼ねて活動しています。患者さんからは「ストーマ(※1)専門の看護師さん」「褥瘡(床ずれ)を見に来る人」などと言われています。今回、この場をお借りし、皮膚・排泄ケア認定看護師の役割を紹介致します。

WOCナース

皮膚・排泄ケア認定看護師、通称WOCナースは大きく分けて3つの分野を専門分野としています。WOC創傷ケア、O・ストーマケア、C失禁ケアです。創傷ケアは皮膚の健康を保つためのスキンケア、褥瘡(床ずれ)予防、起こってしまった皮膚トラブル・できてしまった創傷が治りやすい環境作りや、がん化学療法の皮膚障害・疾患により脆くなってしまった皮膚のケアを行っています。ストーマケアは、人工肛門・人工膀胱・胃ろうなどの瘻孔(※2)を造設された患者さんのケアや、社会復帰のお手伝いを行っています。失禁ケアでは、病気や手術によりおこった失禁の排泄管理や、失禁によって起こる皮膚トラブルのケアを行っています。

ストーマ外来

私がこの資格を習得するきっかけとなったのは、ストーマ外来での経験がきっかけでした。当院のストーマ外来は、2011年4月に開設しました。ストーマ外来を持つ施設がなかった川薩地区では、多くの患者さんがストーマケアを受けるために、鹿児島市内までの通院を余儀なくされていました。身近な施設でケアを受けることが出来るようにと開設した当院のストーマ外来でしたが、皮膚・排泄ケア認定看護師がいない中で、他施設の認定看護師さんに相談しながらの運営でした。そんな私でも患者さんから必要とされ、手術前は不安でいっぱいだった患者さんが社会復帰し、徐々に行動範囲を広げ、自信をもって生活できるようなになる様子は、私にとつて大きな励みとなりました。もっと良いケアを提供し、患者さんが抱えている問題を一つでも多く解決できるようになりたいという気持ちで、資格習得のきっかけとなりました。頼りにしてもらうことは私の原動力となっています。またストーマ外来は、様々な患者さんが受診されます。ケアをしながら、人生の先輩たちから経験談を聞かせていただくことも、楽しみのひとつになっています。

私の専門分野である皮膚は、内臓・骨・筋肉など人間のすべての臓器を包み、容姿や表情でそれぞれの個性を表現する、人体の中で最大の臓器です。排泄は、生命を維持するために欠かすことのできない機能であり、また、自尊心を大きく左右する秘め事でもあります。だからこそ学び続け、困ったときに思い出しもらえる、心身共に支援できる看護師でありたいと思っています。

※1 ストーマとは、手術によっておなかに新しく作られた便や尿の排泄の出口のことを言います。人工肛門や人工膀胱の種類がありますが、何か特別な機械を使うのではなく、自分の腸や尿管を直接おなかの外に出して便や尿の新しい排泄の管理になります。

※2 瘻孔とは、臓器と皮膚表面をつなぐ通路(孔)トンネル状の穴のこと。人工的につくったものや先天的なもの、あるいは病気などで皮膚にできる場合などがあります。



WLB活動を始めて1年が経ちました!



活動内容

- ① WLBの周知
- ② 定時に帰る事ができる職場風土作り
- ③ 看護学生からの評価
- ④ 連続休暇の実現

「全ての職員が生き生きとやりがいを持って働くことができる」を目標に取り組んでまいりました。

現在は…

連続休暇取得

ピタッと帰るDay

が着々と進行中です。

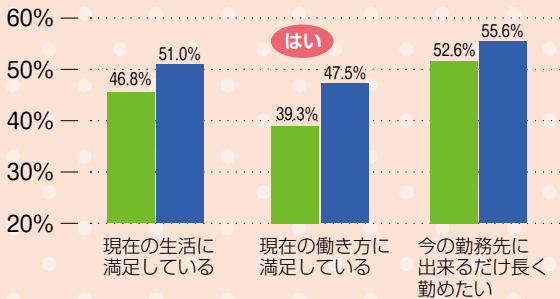
連続休暇取得予定のカレンダーを配布しました。ピタッと帰るDayのためにマグネットを作成・配布し、定時に帰ってもらう予定の人に貼りつけてます。

しかし、ある部署ではマグネットがついた日は、予期せぬ何かが起こるといふ…
別名、「黒ガッパ」とも呼ばれています



インデックス調査結果

2015年
2016年



看護師の離職率

2015年度

10.6%



2016年度
4.2%

看護師の離職率は2015年度の10.6%に比べ6.4%ダウンの4.2%になりました。また、インデックスの調査結果によると、「現在の生活に満足している」に「はい」と答えた方は46.8%から51.0%、「現在の働き方に満足している」に「はい」と答えた方は39.3%から47.5%、「今の勤務先に出るだけ長く勤めたい」に「はい」と答えた方は52.6%から55.6%に2015年度に比べ、それぞれアップしています。

つばさ君の育児奮闘記

本日は食事担当!さて何にしよう…?とりあえずつくれる献立を思いつくだけ…

1つ、2つ、3つ…う～ん出ない。よし!パスタしかない!!

まずはペンネをゆでる。次にフライパンにオリーブオイルをひき、ニンニクを炒める(チューブでも可)。いい感じに炒まったら、ほんとうならトウガラシを入れたいが、息子のために我慢…。一口大に切ったベーコン、ナスを炒め、塩コショウ。その後、トマトソース投入。あとはケチャップで味付け(お好みでウスターソース)し、煮詰め水分を飛ばしペンネ投入。ペンネがソースを身にまったら、火を止めチーズを投入し完成!!簡単なのでみなさんもぜひ!!

材料

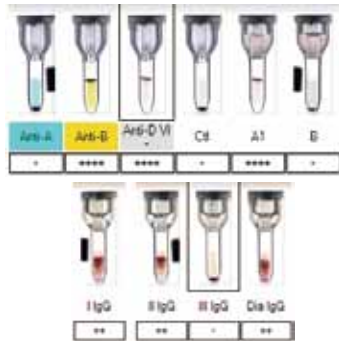
- ペンネ:食べたいだけ
- ナス:夏は安いよね
- ベーコン:うすいより厚い方が美味しい
- トマトソース:1缶
- ケチャップ:好きなだけ
- 塩:汗をかいたら多め
- コショウ:好きなだけ
- チーズ:カルシウム不足を感じたら多め

輸血検査の紹介

輸血とは、出血や病気で血液中の成分（赤血球・血小板・血漿）が少なくなったり、働きが悪くなった時に必要な血液成分を補うことを目的とする治療の方法です。献血による人の血液を輸血することは、副作用が起こる可能性もあります。「安全な輸血」を受けていただくためには、輸血前に必ず輸血検査を行います。

当院の輸血検査では、血液型検査・不規則抗体検査・交差適合試験などを実施しています。

当院では2016年3月に、全自動輸血検査装置 IH-500（バイオ・ラッド社）が新規導入されました。（2015年販売の最新機種・九州では初導入）電子カルテ～輸血システム～全自動輸血検査装置と繋がることにより、今まで以上に「24時間365日安全な輸血検査」が可能となったとともに、作業の効率化も図ることができました。



【血液型検査】

ABO式・Rh(D)式を調べます。

異なる血液型の血液製剤を誤って輸血すると大きな事故につながり死亡することもあります。

【不規則抗体検査】

過去の輸血や妊娠により産生された抗体が存在するかどうかを調べ、輸血の際に不適合輸血にならないようにします。

【交差適合試験】

血液製剤と輸血を受ける患者さんの血液を反応させ、輸血の適合性を調べます。

【輸血用血液製剤】

血液センターから供給される血液製剤は、血液型ごとに色分けされています。



【全自動輸血検査装置】

IH-500は、6軸ロボットアームテクノロジーを全世界初、輸血検査領域へ応用した装置です。



検査部では、「輸血の安全性確保」や「適正な輸血の実施」のために、臨床検査技師による血液製剤の管理から輸血検査までの一元管理を行い、緊急輸血にも対応できる体制を整えております。また、輸血療法委員会の事務局として、委員会資料や議事録の作成、輸血研修会の企画及び、年6回以上の委員会を開催し、院内の輸血体制の整備に努めています。

研修医 紹介



よろしく
お願いいたします!

平成28年11月から
平成29年1月まで
当院で研修されます

内科

消化器内科

はまだ みきこ
氏名：濱田 実貴子

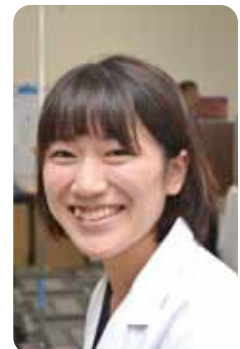
出身地 薩摩川内市

前赴任地 鹿児島大学病院

趣味 早寝早起き（目標）

コメント 3か月間と短い期間ですが、自分でできることを少しずつでも増やせるように頑張りたいです。

ご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。



診察日程案内

平成28年12月現在

■ は再診日です。

		月		火		水		木		金		土		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
科要予約)	糖尿病	西牟田 浩				倉野 美穂子		非常勤医師		植村 和代				
	消化器	田口 宏樹 中村 義孝		福森 光 壽山 敏男		青崎 眞一郎		田口 宏樹 福森 光						
	肝臓 (再診のみ)			非常勤医師		非常勤医師				非常勤医師				
	循環器	福岡 嘉弘		福岡 嘉弘 網屋 俊		網屋 俊		福岡 嘉弘		網屋 俊				
	ペースメーカー (第3・4金曜)									福岡 嘉弘				
	腎臓	濱田 富志夫		村岡 良朗				濱田 富志夫		村岡 良朗				
	呼吸器	※未次/本川 /谷川		※豊倉和代						副島 賢忠				
一般内科	松岡 慧 児玉 朋子		再診日			中村 義孝 福森 光 (児玉朋子)		再診日		恒吉 研吾 中村 義孝				
外科 (予約)	外科	有留 邦明 (初診のみ)	手術日	有留 邦明 萩原 貴彦		手術日		久保 昌亮		久保 昌亮	手術日			
	ストーマ外来 (第1火曜日PM)					有留 邦明 萩原 貴彦								
小児外科	(一般外科手術)			池江 隆正 (13時30分-16時)		(一般外科手術)		手術日		(一般外科手術) 池江 隆正 (13時30分-16時)	池江 隆正 (第2-4土曜のみ) (9時30分-11時)	休診		
整形外科 (再診のみ)						非常勤医師				非常勤医師				
小児科	田中 主美 吉川 英樹		田中 主美 吉川 英樹		田中 主美 吉川 英樹		再診日		田中 主美 吉川 英樹		田中 主美 吉川 英樹	休診		
泌尿器科	1診 2診	手術日	伏谷 俊作 古郷 修一郎	手術	古郷 修一郎 伏谷 俊作	手術	伏谷 俊作 柘木 太郎	手術	柘木 太郎 古郷 修一郎	手術				
産婦人科 (予約)	産科 野口 慎一 婦人科 松尾 隆志	1ヶ月検診	古郷 有佳子 手術日		松尾 隆志 森 まり絵	予約検査	森 まり絵 野口 慎一	手術	森 まり絵 松尾 隆志	予約検査				
眼科	非常勤医師		非常勤医師		木村 勝哲		木村 勝哲		木村 勝哲					
皮膚科	坂口 郁代		手術日		坂口 郁代		坂口 郁代		坂口 郁代					
放射線科	進藤 俊和	放射線治療	小野原 信一	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一 又は 進藤	休診
緩和ケア外来 (要予約)			安原/勝目/原田 (精神症状緩和) 第1・第3火曜日 14-16時				有留 邦明・久保 昌亮 (身体症状緩和) 毎週火・木曜日 14-16時							
ペインクリニック (要予約)									西村 絵美					

- ※呼吸器内科は月曜日又は火曜日(隔週)と毎週金曜日の診察になります。
- ※肝臓内科・整形外科については、初診の方の受付は行っていません。
- 予約が必要な診療科・検査がございます。恐れ入りますが事前にお問い合わせ下さい。
- 担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
- がんに関する相談をご家族のサポートを行う緩和ケアチームで行っております。(平日9時～16時)
- がん患者さんとご家族のサポートを行う緩和ケアチームがあります。
- セカントピニオンに関する相談を医療連携室にて行っております(平日9時～17時)

予約・お問い合わせは
TEL (0996)23-5221 (代表) 予約電話 月～金曜日
内科:14時～17時 その他:13時～17時

理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

1. 患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
2. 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実現します。
3. 私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
4. 公的の中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
5. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者様の権利と責務について

権利について

1. 誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病院や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
3. 診療の過程で得られた個人の情報等(プライバシー)は守られる権利があります。

責務について

1. 自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
2. 医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
3. 病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。

病院案内



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
TEL (0996)23-5221 FAX (0996)23-9797
http://www.saiseikai-sendai.jp/
mail: info@saiseikai-sendai.jp